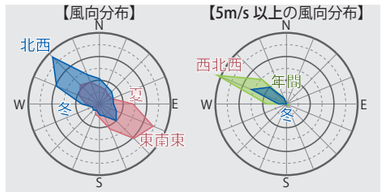
整理番号	

※本欄は記入しないでください。

明るい村の未来を共創する、「ひと」・「暮らし」・「自然」を大切にしたみんなの庁舎

写真出典：大蔵村ホームページ

【課題１】村民が親しみやすく誰もが利用しやすい庁舎等について



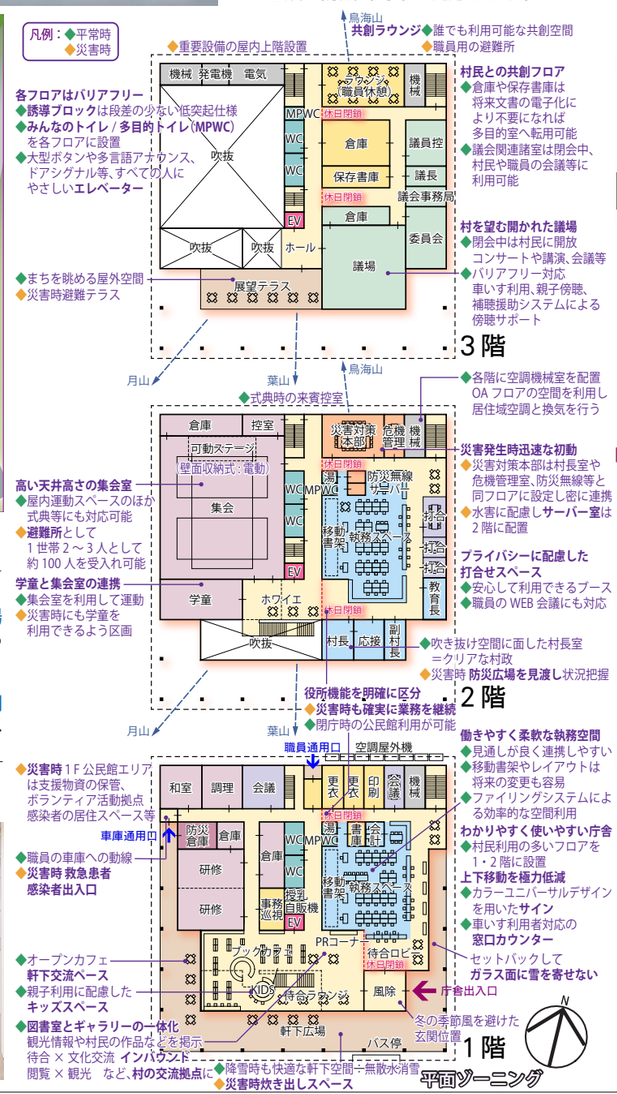
地域特性の把握＝積雪・風向

■計画地の気象条件を正確に分析

●©Weathernews Inc. から提供を受けた当該地の緯度経度地点の **1km メッシュ気象データ** を解析し、より正確な情報を設計にフィードバックします。

■冬期の強い北西風対策＝庁舎玄関の利便性

●庁舎のメイン出入口は**冬の季節風を避けた位置**に配置します。その他各出入口は風除室を設け**防風雪対策**に配慮します。



複合施設を実現するための建築計画

■多様性の時代のユニバーサルデザイン＝わかりやすく使いやすい庁舎

●明快な**動線計画**や**案内表示**に加え、誰もが全館を安心して利用できるよう、階段・エレベーター・トイレ・備品・駐車場等を計画します。

■村の交流拠点としての複合型庁舎＝みんなのサードプレイス・共創の場

●エントランスホールにギャラリーを兼ねた**ブックカフェ**を併設することで公民館機能と共に文化・情報交流の機会を創出します。

●役所機能を**明確に区画**し、村民の閉庁時公民館利用を可能とします。

■利便性と可変性を重視したオフィスレイアウト＝フレキシブルな執務空間

●部署間で連携し業務を効率的に行うことができるよう**作業スペース**や**移動書架**を設け、将来を見据えた柔軟な執務空間を計画します。

●村民が窓口を気軽に利用できるよう、**プライバシー**が確保された打合せスペースを複数設け、多様なニーズに対応します。

環境とコストに配慮した敷地利用計画

■雪国の庁舎＝除雪労力・事故リスク軽減

●総３階建てのシンプルで**コンパクト**な建物形状とし、屋根面積を最小限とすることで積雪量を軽減します。

●屋根はフラットな**陸屋根**とし、落雪させない方式とします。

■車庫を庁舎と別棟で計画＝コスト抑制

●別棟の計画により、車庫の建物グレードと**建設コストの最適化**を図ります。

■周辺環境への配慮＝プライバシー確保

●常緑樹の配植により、隣接する民家や墓地への**視線をカット**します。

【課題２】防災の拠点となる安心・安全な庁舎等について

【防災拠点としての建築計画、構造計画、設備計画】

災害拠点として堅牢で安全な庁舎

■地震時にも安心・安全な施設づくり＝高い耐震性の確保・BCP対策

●新庁舎は「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」における耐震安全性の目標を「**構造体Ⅰ類**」（**基準計画強度の 1.5 倍**）に設定し拠点施設として高い耐震性を確保します。

●災害時のインフラ途絶時に対応する、電源・情報通信・給水・排水・空調など**各種バックアップ機能**を備えます。

●建物の内装計画では**無天井化**とすることで地震時の天井落下の危険リスクを回避し飛散物による業務中断のない安全な計画とします。

●家具や備品は**床・壁に固定**して転倒防止措置を行います。**耐震ラッチ**を採用し転倒・落下・書類飛散等を抑制します。

■水害や洪水に備えた施設づくり＝地盤の嵩上げ・１階床レベルの設定

●敷地全体を **50 ㎝以上高く嵩上げ**し、１階床高さを**標高 49.00m** に設定することで万が一の浸水時にも新庁舎への浸水被害を回避します。

公民館の一次避難所機能

■災害対応活動エリアと避難所エリアの明確化＝明快な配置・平面ゾーニング

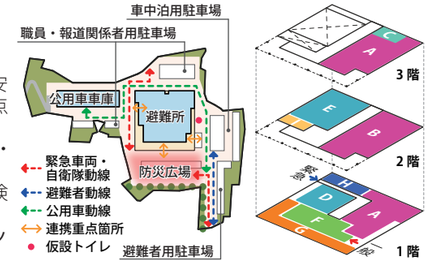
●庁舎機能と公民館機能とは各々混乱なく利用できるよう**管理区分を明確化**した平面ゾーニングとします。

●救急車や消防車、自衛隊車両等の**緊急車両**が十分に通行できる敷地内通路を確保し、災害活動の円滑化と利用者の安全性に配慮します。

■指定避難所として連携しやすい公民館＝機能集約・コンパクトな動線確保

●災害時の公民館は、安否情報の発信や支援物資の配給、現地ボランティアの受付・拠点場所と想定し、**庁舎災害対策室等と連携**します。

●２階集会室の避難所利用は、**非常電源によるエレベーター運転**により、高齢者や支援物資対応を可能にします。



明確なエリア区分・動線で災害時も庁舎としての機能をはたす

庁舎	A	役場
	B	役場（災害対策本部・村長室・副村長室）
	C	避難所（職員用）
公民館・避難所	D	一時避難・物資保管所
	E	避難所
	F	ボランティア案内所
	G	炊き出しスペース
	H	救急・感染者対応室
	I	学童

災害対策項目

非常電源	1	非常用発電機	建築計画	15	無天井化による天井落下リスク回避
	2	太陽光発電パネル（20kW）		16	ガラスフィルムによる飛散防止対策
情報通信	3	光・メタル・無線の多重化＋衛星電話		17	建物外周部に緊急車両ルート確保
	4	ＪアラートⅡ防災情報システムの配備		18	防災倉庫の設置
	5	災害時対応大型モニター（災害対策本部）	構造計画	19	耐震強度 1.5 倍を確保
給水	6	水道直圧方式		20	２次部材の高耐震化による落下防止対策
	7	床下ピット雑用水槽（備蓄７日分）	水害対策	21	想定外の降雨に対応した配管径の設定
	8	地下水の雑用水利用		22	重要設備機器・制御盤等の高所設置
排水	9	災害用汚水槽・マンホールトイレ		23	躯体を RC 造：浸水対策
生活環境	10	停電時の照明・コンセント（自家発電運転）		24	外部出入口に止水板の設置
	11	停電時の空調運転（自家発電運転）		25	垂直避難時の救助対応バルコニー設置
換気	12	空気清浄機搭載型空調機	雪害対策	26	屋外機械基礎・架台高さの積雪対応
	13	自然換気・自然通風		27	地下水利用無散水消雪設備
EV	14	垂直避難対応（自家発電運転）		28	雪庇防止フェンスの設置：雪害防止

【課題３】経済的で環境にやさしく景観に調和した庁舎等について

【建設コストの抑制】

■コンパクトな建物形状＝工事費の削減

●３階建てのコンパクトな建物形状とし、建物の接地面積を最小限とすることで基礎躯体や掘削、杭等の**コスト**を**縮減**します。

●屋根面積を最小限化することで積雪荷重を抑え**躯体費**を**低減**します。

■シンプルで合理的な構造＝鉄筋コンクリート（RC）造・6mグリッド

●種別をＲＣ造とし躯体コストを低減した**堅実**で**単純**な構造とします。

●ＲＣ造に最適なスパン（6m×6m）を基本とし、各部材の負担荷重の軽減と均等化により**構造安全性の向上**と**経済性**に配慮します。

【管理コストの抑制】

■維持管理しやすい持続可能な庁舎＝シンプルな材料構成

●利用者の安心安全を第一に、耐久性・抗菌・抗ウイルス・消臭・メンテナンス性に優れた材料や部材を**適材適所**に使用します。

●材料や部材の**種類を極力抑える**ことで修繕を容易にします。

【地球環境に配慮した庁舎】

■省エネに配慮した次世代ビル＝ZEB Ready の実現＋創エネ

●外皮の高断熱化と高効率な省エネルギー設備によって、年間一次エネルギー消費量を 50%低減した建築物「**ZEB Ready**」をめざします。

●さらに**太陽光発電パネル**（約 20ｋW）を車庫の壁面に設置し、再生可能エネルギー導入による環境意識を高めた庁舎として整備します。

■空気式床放射冷暖房＝輻射熱を利用した快適な居住域空調

●ＯＡフロア空間を利用した**空気式放射冷暖房システム**とします。

●床の表面温度を一定（24～25℃）に保ち、人体から熱を吸収して体感温度を下げます。暖房時は床放射熱を人体が吸収し温かく感じます。

■執務空間の照明環境＝健康・働きやすさ＋電気代・CO^2 排出量削減

●**空間の明るさ感指標（Feu）**を検討し、**反射率の高い床仕上げ**を選定することで照明平均照度を 750lx から 500lx に落とすことが可能です。

●執務空間の照明は、**ワークサイクル・リズム**に配慮した計画とします。

【冬期の風雪対策】

■雪害対策（氷柱・雪庇・転倒）＝雪庇防止フェンス・無散水消雪設備

●軒先部に当社設計ですでに実績ある**雪庇防止フェンス**を設置します。

●冬の強い季節風を避けた**軒下空間の中**に庁舎玄関を配置します。

●ピロティの床面は地下水利用による**無散水消雪設備**を敷設し、路面凍結などでの転倒リスクを回避します。

■敷地内の除排雪計画＝スムーズな機械除雪動線・適切な雪押場の設定

●庁舎棟・車庫棟の建物まわりと駐車スペースは**機械除雪**とし、敷地内に適宜設定した**雪押場**に堆雪させます。

●構内道路は作業性が良く**シンプルな機械除雪動線**を確保します。

●１階周りの外壁窓面は柱より後退させ、**雪を寄せない**計画とします。

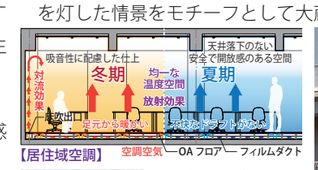
樹木による視線遮蔽とプライバシー配慮　鳥瞰イメージ

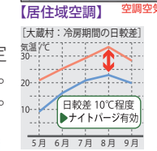
【周辺景観に配慮した施設】

■シンプルでコンパクトな外観＝質実剛健で長く愛され親しまれる庁舎

●杉の防風林を背後に、厳しい風雪に耐えながら凛として佇むイメージが、村民を見守る安全・安心な庁舎として、みんなに長く愛され親しまれる**質実剛健な外観**を検討します。

●外壁の窓の意匠は、冬のイベント**肘折幻想雪回廊**に見られる雪明かりを灯した情景をモチーフとして大蔵村らしさを表現します。





【ナイトパージ】
大蔵村特有の気候条件を活用し、夏の夜間に冷涼な外気を室内に取入れます。躯体に蓄熱させることで昼間の冷房負荷を削減し省エネルギー化を図ります。

【執務空間の照明：ワークサイクル・リズム】
出勤から退勤までの時間帯の光をコントロールすることで、日中は集中して働き、夕方はリラックスへと導くよう体内リズムを整えます。

ZEB 配慮項目

負荷低減 A	A：1	ピロティ・開口上部庇の設置
	A：2	西面遮光カーテン
	A：3	高断熱・高遮熱ガラス（Low-E）
	A：4	高性能断熱材
省エネ手法 B	B：1	高効率空調機（EHP）
	B：2	全熱交換器
	B：3	自然冷媒ヒートポンプ給湯器
	B：4	全館 LED 照明
	B：5	照明ゾーニング制御
	B：6	人感センサー昼光センサー
自然再生可能エネルギー C	C：1	自然通風・採光 / ナイトパージ
	C：2	太陽光発電（20kW）
	C：3	地下水利用無散水消雪設備
	C：4	ペレットストーブ（待合ロビー）